

ベネズエラ・アルバ島日食下見報告

吉村 公一

本文はPTS社の依頼を受けて 1997 年 2 月末に現地下見を行い、同社に提出した報告書を同社の了解を得て、日食報告会で発表したものである。なお、本文作成に当たってPTS社に提出したものの内、直接読者諸氏に関連がないと思われる部分は削除してある事をお断りしておく。

- 実施期間 1997 年 2 月 22 日 (土) ~ 2 月 27 日 (木)
- 日食期日 1998 年 2 月 26 日 (木)
- 実施地区 1. ベネズエラ国・マラカイボ：シナマイカ地区 (4~5ポイント)
2. アルバ島(オランダ領)：パームビーチ(村)、セロエ・コロラド地区

☆ ベネズエラ

* 一般情報

産油国であり、南米としては豊かな国である。空港内にまで物乞いがいる様な事はなく、治安も比較的良好である。ただし、観測予定地はコロンビアとの国境に近く、密入国者や、たまにはゲリラが逃げ込んで来たりする事もあるそうで、パスポートは常に携帯すること。またしばしば検問もあり、疑られる恐れのある行動は厳に慎むこと。言語はスペイン語。ホテルでは英語も通じる。

* 入国手続き

- ◆ビザ 不要 (アメリカと同様、短期滞在申請でよい。用紙はアメリカ出国時にチェックカウンターでくれる物に記入(2枚複写)入国時にコピーをもらう。(出国時に必要))
- ◆外貨 持ち込み制限はないが、申告書は必要
- ◆税関 ほとんど検査らしき物なし。ただし、観測機材など高額の物についてはリストを作った方が良いかもしれない。
- ◆予防接種 原則として必要なし。ただし、「肝炎」「コレラ」など心配ならば考えても良い。夜間観測をする人はマラリヤに対する配慮も。
- ◆通貨 ポリバーレス 1\$=470ボリバ-ル 1¥=4ボリバ-ル
(1997年2月末時点)
券種 5000、2000、1000、500、(200)、100、50、20、10、5 他にほとんど出回っていないが、2と1のコイン在り。

* 出国手続き

- ◆書類 入国カードのコピー（最終チェックカウンターで必要）
- ◆出国税 米ドル 20\$ 他に空港使用料 5500ペーリバ（残しておくこと）
- ◆税関 特になし。（セイフティーチェックは、かなり厳しい）

* 国内事情

- ◆電圧 AC110V コンセントは丸ピンと平行ピンの共用型が多く、日本の器具は、ほぼそのまま使える。
- ◆フィルム コダックの一般的な製品は入手可能（日本より持参が望ましい）
- ◆ビデオテープ VHSは入手可能。8mmテープは事実上ない！ 特に Hi 8は入手不可能（必ず日本から持参すること）
- ◆飲料水 水道水は安全だが飲用は避けたほうがよい。特に、観測地シナマイカではミネラル・ウォーターが必要。
- ◆食事 肉は牛肉・鶏肉が主体だが、メキシコ料理の様に辛くはない。魚も豊富で様々なメニューが楽しめる。サラダ・フルーツ・ジュースなども多様。
- ◆チップ アメリカとほぼ同様。ポーターチップ、枕チップ共に米ドル1\$が適当。
- ◆気候 首都カラカスは標高 1500 mで過ごしやすいが、マラカイボ及びシナマイカは極めて暑く、陽射しも強い。盛夏服、日除けが必要。

★ 観測予定地 シナマイカ（11° N・72° W 付近）4～5ポイント

1. エル・トロンポ (EL TROMPO) 11° 00' 06N 71° 47' 41W
 食堂が二棟あり、昼食をとりながら観測・撮影可能。幅広い川に臨んだ道の行き止まりで、交渉しだいで占有可能。観測・撮影用地は駐車場で車が無ければ、やや狭いが100名程度可能。交渉次第では夜間観測・仮眠が可能かも。
2. プト・セルビト (PTO:CUERVITO) 11° 03' 83N 71° 53' 30W
 食堂一棟、他に売店あり。水上生活者の様子を体験できる観光地。アスファルト舗装の広い駐車場が観測予定地で、好適地だがアメリカ・ヨーロッパなどからの引き合いが多数きているとの話。
3. ウイルメル (WILMER) 11° 04' 69N 71° 51' 75W
 個人所有の農地（元農地？） 広さは充分あり、占有可能だが、近所には地元民用の小さな売店が一軒在るのみ。足元は硬いが砂地なので、三脚を立てる為には工夫が要る。
4. 海岸 及び ラグーンの高所
 ベネズエラ湾の長いビーチで地元では有名な海水浴場。海の家多数あり。他にコテージ（ハンガロウ）があり、宿泊・夜間観測可能。ただし、海岸で風が強く機材が心配。ラグーン高所はブッシュの砂地で、サボテンやトゲのある植物が多く不向き。
5. ドン・ボスコ (DON BOSUKO) 11° 03' 62N 72° 03' 23W

私立の工業専門学校 サッカーコートの他に校舎域内のバレーボールコート・バスケットコート。アスファルト舗装されており、面積も充分ある。隣接の一部の校舎を準備・休憩室として利用しても良い、との申し出あり。場所としては最高だが、食堂は利用出来ないで、ランチボックスが必要。さらに、皆既中心線から数キロ離れているため、皆既継続時間が2秒ほど短い。

その他 シナマイカの町中のサッカー場や野球場などがあるが、現時点ではまだコンタクトしていないとの事で、視察していない。

視察者私見

第一候補地	ドン・ボスコ	足場・利便性・安全性とも最高。(ゲート内) デメリット 食事 皆既継続時間。
第二候補地	エル・トロンボ	食事に最適 占有、前夜仮泊の可能性大。 デメリット やや手狭。
第三候補地	プト・セルピト	足場・利便性良好 食事も可能。 デメリット 混雑の恐れあり。

付記 すでにご承知の方も多いと思うが、PTS社のプランはドン・ボスコに決定している。1～3の各地区はいずれかの観測隊が押さえていると思われるので、個人的にシナマイカ地区での観測を考えている方は、なるべく中心線に近い道路わきで観測する事を覚悟しておいたほうが良いかもしれない。

☆ アルバ島

* 一般情報

アルバ島の他にクラサオ島、ボナイレ島などカリブ海に浮かぶオランダ領三島の一つ。ベネズエラとの関係は深い。所謂アメリカの裏庭の一角で、アメリカ人主体の一大観光地である。物価は高いが(日本よりは安い)治安、サービスともに極めて良好である。言語はスペイン語、英語の他に宗主国オランダ語が飛び交う。日本人観光客は殆ど立ち寄らないため、日本語はまず通じないが、不愉快な日本語を聞くこともない。

* 入国手続き

- ◆ビザ 不要(アメリカと同様、短期滞在申請でよい。用紙は機内でくれる)
入国時にスタンプをもらい保管する。出国時に必要。
- ◆外貨 持ち込み制限はない。
- ◆税関 検査はまったく無かった。
- ◆予防接種 原則として必要なし。

- ◆通貨 アルバ・フロリン 1 \$ = 1.77 Af 1 Af = 68 円
米ドルがそのまま通用するので事実上交換不要。ただし50セントのコインは四角形の珍しい物であり、お札には様々な動物のデザインがある。

* 出国手続き

- ◆書類 入国時のカードを提出。他にアメリカ入国の為の書類を提出、この時点でアメリカ入国となる。したがってアルバ・マイアミ間は米国内線扱い。
- ◆出国税 米ドル 20 \$ (空港使用料とも)
- ◆税関 特になし。

* 国内事情

- ◆電圧 AC 110V コンセントは丸ピンと平行ピンの共用型が多く、日本の器具は、ほぼそのまま使える。
- ◆フィルム コダックの一般的な製品は入手可能（日本より持参が望ましい）。
- ◆ビデオテープ VHSは入手可能。8mmテープもあるが、Hi 8は入手不可能。
(必ず日本から持参すること)
- ◆飲料水 水道水は安全だが飲用は避けたほうがよい。特に、セロエ・コロラド地区ではミネラル・ウォーターが必要。
- ◆食事 ホテルではアメリカのホテルと同じで、ヨーロッパ系の食べ物はほとんどあるが、日本食はむり。
- ◆チップ アメリカとほぼ同様。ポーターチップ、枕チップ共に米ドル1 \$が適当。
- ◆気候 マラカイボ同様極めて暑く、陽射しも強い。盛夏服、日除けが必要。

★ 観測予定地 パーム・ビーチ (アルバ・ハイヤット・ホテル) セロエ・コロラド地区
(12° 30' N・70° W 付近)

1. ハイヤット・ホテル

屋上 普段は立ち入り禁止だが、観測の為に自己責任で利用できる。夜間観測も同条件で可能。電源はない。最良と思われるが、皆既中心線からはかなり離れる。他の観測グループからもコンタクトがあり、占有はできないが100名は可能。

駐車場 立ち入り制限なし。当日は一角を観測専用スペースにする用意があるとの話。

ビーチ ホテルの専用ビーチであり、リラックスして観望できる。ただし、砂浜なので三脚などはむり。

テラス 南向きの部屋ならばテラスからも充分可能。全過程の連続撮影は難しいが、ピーク時のみの撮影で良ければ特等席。

2. セロエ・コロラド地区

島の南端部に位置し、ホテルよりは皆既中心線に近い。政府所有地で利用には許可が必要となる。おそらく出ると思われるが、事前に完全なコンタクトが必要となる。ポイントとしては最南端のコロラド・ポイントが最適だが、各国（日本も含む）から多数の照会があるとの話なので、かなりの混雑が予想される。

現地には休憩設備はまったくなく、陽射しが強く風も強い。食事・水共に持参する事が必要となる。

アルバ島についての雑記

アルバ島の南部、セロエ・コロラド地区はメロカクタスの大群生地である。

サボテンに興味のない人には関係ないかも知れないが、少しでも興味のある人にとっては夢の様な所です。アルバ島を考えている人はぜひ写真を撮ってきてください。値打ちものですよ！